目　次

緒　言 …… i
序　説「方言語法　方言文法　方言表現法」 …… 1
首　篇　方言生活相 …… 3
第一章　方言会話 …… 5
◎「会話」との言いかたをすること …… 5
第一節　方言会話の実状 …… 6
一　例の一つ═══「伊予八幡浜弁」 …… 6
二　例の一つ═══「瀬戸内海伊予大三島北端弁」 …… 8
第二節　方言会話汎論 …… 10
一　人と話題 …… 10
二　会話展開の中での話者の冒頭のことば …… 12
三　変換自由 …… 13
四　会話展開の途中での会衆の心づかい …… 14
五　待遇意図 …… 14
六　待遇表現法での文末のことば …… 15
七　表現類型として注意すべきもの …… 16
八　会話態度 …… 17
九　会話テーマ …… 17
十　方言会話での心ばせ …… 17
十一　方言会話の内面 …… 18
第三節　方言会話実状（前掲）についての分析的考察 …… 18
一　前引例「伊予八幡浜弁」のばあいについて …… 18
二　前引例「瀬戸内海伊予大三島北端弁」のばあいについて …… 21

三　むすび……24
第二章　会話（という「ことばの生活」）でのあいさつ……25
〜あいさつのことばでの方言文法〜
第一節　あいさつことばの本質（本性）……25
第二節　あいさつ表現法——その諸特色——……26
一　名詞的表現のこなた……26
二　文形のあいさつことば……27
三　述部相のもの……29
四　修飾相のもの……30
五　接続相のもの……31
六　感声相のもの……34
七　あいさつ表現の長「一文」・連文……34
八　あいさつのことばと非あいさつのことば……36
九　むすび……36
1　あいさつことばの複雑と簡潔と……36
2　あいさつことばの性別特色・階層特色……37
3　あいさつことばの新時代・新様式……37
4　あいさつことばの永遠性……38
第三章　会話〜方言生活〜での音声面……39
第一節　文表現法のばあい……39
〔抑揚　文末の声調〕
第二節　文表現の「部分」に注目される声調……40
第三節　「語音」の音調……42
第四節　「接頭辞・接尾辞」の音相……42
付　節　敬卑表現法と音相……43
第一篇　実　詞……45

第一章　名　詞……47
第一節　名詞形成の文法……47
一　文的形成……47
二　長形名詞……48
三　擬態・擬声の名詞製作……49
四　「名詞＋動詞連用形＋名詞」……49
五　「名詞＋動詞」と「動詞＋名詞」……50
六　「名詞＋名詞」……51
七　「修飾語＋名詞」……52
八　簡潔形……52
第二節　臨時名詞形〜文表現のための臨時創作〜……53
第三節　名詞どめ文表現……54
第四節　「名詞」文……56
第五節　一音節名詞……57
第二章　数　詞……59
□　数詞の存在……59
第一節　日本語の原数詞……59
一　原本的な数詞……59
二　原数詞の運用……61
第二節　‘助数詞’の成立……61
第三節　‘助数詞’（助数辞）の二方向……61
一　和語の方向……62
二　漢字利用の方向……62
第四節　数詞慣用の諸態……63
第三章　代名詞……66
第一節　人称代名詞——自称……66

□ はじめに ……66
一 「オレ」系のもの ……66
1 九州地方 ……66
南部地方 ……66
「熊本県一般・佐賀県下・長崎県下・福岡県下」地方 ……70
「宮崎県下一般・大分県下」地方 ……73
2 東国地方 ……74
奥羽方面北海道も ……74
関東地方 ……77
中部地方 ……78
3 「近畿・中国・四国」方面 ……79
近畿地方 ……79
「中国・四国」の地方 ……81
二 「吾・我」系のもの ……82
三 「わたくし」(私) 系のもの ……88
1 九州地方 ……88
2 中国地方 ……91
3 四国地方 ……93
4 近畿地方 ……94
5 中部地方 ……95
6 関東地方 ……96
7 奥羽地方 ……97
四 「われ」とあるもの ……97
五 「コチ」など ……99
六 「ウチ」 ……100
七 その他 ……103
第二節 人称代名詞——対称 ……105

一 「アナタ」 ……105
二 「アータ」「アッタ」 ……106
三 「アンタ」 ……107
四 「ア」以下 ……108
五 「イ」「うぬ」(汝)「ウラ」 ……111
「イ」 ……111
「うぬ」(汝) ……111
「ウラ」 ……115
六 「オノレ」類 ……116
七 「オミ」(お身) 類 ……119
八 「オヌシ」(お主) 類 ……121
九 「オマエ」(お前) 類 ……123
十 「オモト」(お許) ……135
十一 「オウチ」(お内家) その他 ……135
〈以下五十音順に〉 ……135
十二 「キサマ」(貴様) ……135
十三 「こなた」(此方) 類 ……137
十四 「コレ系」のもの ……142
十五 「ジン」 ……144
十六 「ソナタ」(其方) 類 ……144
十七 「ソッチ」 ……146
十八 タ・ダ行音のもの ……146
十九 ナ行音のもの ……148
二十 「ヌシ」「ニシ」「ノシ」 ……150
二十一 「ネラ」 ……154
二十二 「バー」 ……154
二十三 「ファ」(vva) ……154

二十四　「ヤド」「ヤー」……155
二十五　「ヨイ」……156
二十六　「ワ」……157
二十七　「ワレ」「ワリ」「ワル」「ワイ」……160
二十八　「ワゴリョ」ほか……164
〜「ワ」にはじまるもの〜
二十九　「ン」にはじまるもの……166
第三節　人称代名詞——他称……167
一　「コ」系……167
二　「ソ」系……170
三　「ア」系……171
四　その他……176
第四節　人称代名詞——不定称……179
一　ダレ……179
二　ダイツ……183
三　ドナタ……184
第五節　指示代名詞……184
○　はじめに……184
一　事物〜近称……186
二　事物〜遠称……191
三　事物〜中称……197
四　事物〜不定称……197
五　場所〜近称……199
六　場所〜遠称……203
七　場所〜中称……206
八　場所〜不定称……208
九　方向〜近称……211

十　方向〜遠称……213
十一　方向〜中称……214
十二　方向〜不定称……214
おわりに……215
一　敬意表現法の発達と代名詞の発達……215
二　人称代名詞中の自称詞・対称詞……216
三　代名詞の性・数……216
四　中称詞の問題……217
五　「代名詞」史観……217
第四章　体言の接辞……218
第一節　接辞文法→接辞法……218
第二節　接頭辞……235
一　「オ」……235
一′「オン」……236
一″「オ〜サン（サマ）」……237
二　「ゴ」……238
二′「ゴ〜サン（サマ）」……239
三　「オ・ゴ」のほかのもの……239
第三節　接尾辞……246
一　「サマ」……246
二　「サー」……251
三　「サ」……254
四　「マ」……257
五　「サン」……259
六　「シャン」「ツァン」「ツァ」「チャン」（チン）（キン）「タン」「チャ」「チー」……264

七　「ハン」……267
八　「ヤン」「ヤー」……270
九　「タチ」「ラチ」……274
十　「ジャ」(者)「ニャ」……276
十一　「コー」(「コ」)……277
十二　「キン」……278
十三　「シ」……278
十四　「ジョ」……279
十五　「ドモ」……280
十六　「ドノ」「ドン」……280
十七　「ラ」……283
十八　以上列挙のほかのもの……283
(アイウエオ順にかかげる。)
〈人をさすものもある。〉
第四節　接中辞……294
第五章　動　詞……296
第一節　二段活用……296
一　はじめに……296
二　九州各県の状況……296
三　中国四国の状況……299
四　近畿状況……300
⟹ 関西内での二段活用残存事情
付　近畿以東のこと……300
第二節　ラ行五段活用……303
一　はじめに……303
二　「出ラん」「起キラん」などのばあい……304

(「ラん」相当の「ヤん」もおこっている。)
三　命令形「出レ」「起キレ」の類……314
四　命令形「出ロ」「起キロ」の類……322
第三節　禁止命令表現での動詞「～ナ」……330
第四節　変格活用……344
一　サ　変……344
二　ナ　変……348
三　ラ変と五段活用「アル」……348
第五節　動詞連用形……351
第六節　動詞の進行態……358
一　はじめに……358
二　九州地方……358
三　中国地方……363
□瀬戸内海大三島北端集落方言のばあい……363
四　四国地方……371
五　近畿地方……375
六　中部地方……382
七　南島方面のこと……385
第七節　動詞の存在態……386
一　はじめに……386
二　西南諸島方面のもの……387
三　いわゆる本土での問題事象の大様……388
四　九州地方……389
1「動詞連用形＋て＋オル」＝「～チョル」……389
2「動詞連用形＋て＋オル」＝「～トル」……394
五　中国地方……397
1「～チョル」……397

2 「〜トル」……399
六　四国地方……401
1 「〜チョル」……401
2 「〜トル」……403
七　近畿地方……404
八　中部地方……411
九　関東以北の地域……415
第六章　形容詞……417
第一節　形容詞の存立……417
第二節　形容詞形態……417
第三節　方言形容詞の地方性……419
一　九州地方……419
二　中国地方……423
三　四国地方……425
四　近畿地方……426
五　中部地方……428
六　関東地方……431
七　奥羽地方……432
八　西南諸島方面……435
第七章　いわゆる形容動詞……437
第一節　形容語の世界……437
一　いわゆる形容動詞の創定……437
二　いわゆる形容動詞の自由新作を多分に見てきた私の個人体験……438
三　形容語要求の自然……440
第二節　いわゆる形容動詞の存立を地方に見る……440
一　九州地方……440

二　中国地方……442
三　四国地方……444
四　近畿地方……444
五　中部地方……445
六　東国地方……446
第八章　用言の接辞……448
〈小著『民間造語法の研究』をご参照くださるならば幸甚である。〉
第一節　動詞の接辞……448
一　接頭辞……448
1　九州地方……448
2　中国地方……458
3　四国地方……460
4　近畿地方……462
5　中部地方……463
6　関東地方……466
7　奥羽地方……470
二　接尾辞……472
1　九州地方……472
2　中国地方……474
3　四国地方……477
4　近畿地方……479
5　中部地方……480
6　関東地方……482
7　奥羽地方……482
三　接中辞……484
□　はじめに……484

1 「カ」接中辞 ……484
2 「ク」 ……486
3 「ケ」 ……487
4 「ト」 ……487
5 「ヤ」 ……488
□ むすび ……488
第二節 形容詞の接辞 ……488
一 接頭辞 ……488
1 「アタ」 ……489
2 「ウド」 ……489
3 「オ」 ……489
4 「オボ」 ……490
5 「オロ」 ……490
6 「カン」 ……490
7 「クソ」 ……490
8 「ケ」 ……490
9 「コ」 ……491
10 「ザザ」 ……491
11 「シシラ」 ……492
12 「シチ」 ……492
13 「ダダッ」 ……492
14 「チョロ」 ……492
15 「ド」 ……492
16 「ナマッ」 ……493
17 「バ」 ……493
18 「ヒキタリ」 ……493
19 「ヒコ」 ……494

20 「ヒチ」 ……494
21 「ヒョロ」 ……495
22 「ヘ」 ……495
23 「ホータラ」 ……495
24 「ホッポロ」 ……495
25 「ホテ」 ……496
26 「ホロ」 ……496
27 「マッ」 ……496
28 「モノグ」 ……496
29 「ヤッ」 ……497
二 接尾辞 ……497
1 「ガマシー」 ……497
2 「カマシー」 ……498
3 「クサイ」 ……498
4 「クタイ」 ……499
5 「クルシー」 ……500
6 「コイ」 ……501
7 「コタシー」 ……502
8 「タラシー」 ……502
9 「タマシカ」「タラシカ」 ……502
10 「ツケナイ」 ……503
11 「ニクイ」 ……503
12 「ポイ」 ……503
13 「ボッタイ」 ……504
14 「ラシー」 ……504
15 「ロシー」 ……504
16 「ラシカ」「ロシカ」 ……505

三　接中辞 ……505
1　「ク」 ……505
2　「クタ」 ……506
3　「コー」 ……506
4　「ト」 ……507
5　「テ」 ……507
第三節　形容動詞のばあい ……507
第二篇　助　辞 ……510
第一章　助詞と助動詞 ……513
第二章　助詞〜格助詞 ……515
（「ガ」「ノ」「ヲ」「カラ」だけをとりあげる。）
第一節　「ガ」 ……515
一　九州地方 ……515
1　主　格 ……515
2　属　格 ……515
3　主格辞「ガ」相当の「イ」 ……516
二　中国地方 ……517
1　主　格 ……518
2　属　格 ……519
3　主格辞「ガ」相当の「サ」 ……520
三　四国地方 ……520
1　主　格 ……520
2　属　格 ……523
3　主格辞「ガ」相当の「ワ」 ……525
四　近畿地方 ……525
1　主　格　（ア・ヤ・ナ・ン・「ガ略」） ……525

2　属　格 ……529
五　中部地方 ……530
1　主　格 ……530
2　属　格 ……538
六　関東地方 ……541
1　主　格 ……541
2　属　格 ……542
七　奥羽地方 ……543
1　主　格 ……543
2　属　格 ……549
第二節　「ノ」〜主格表示での敬意表現法 ……550
一　九州地方 ……550
二　中国地方 ……556
三　四国地方 ……558
四　近畿地方 ……559
五　中部地方 ……560
六　関東地方 ……561
七　奥羽地方 ……562
第三節　「を」の「バ」 ……563
第四節　「カラ」〜特用のいくらか ……572
第三章　助　詞〜副助詞 ……578
第一節　「ばかり」関係のもの ……578
一　九州地方 ……580
二　中国地方 ……582
三　四国地方 ……583
四　近畿地方 ……585

五　中部地方 ……586
六　関東地方 ……586
七　奥羽地方 ……586
八　北海道地方 ……588
第二節　バシ ……588
第三節　「シカ」の類 ……591
一　九州地方 ……592
二　中国地方 ……592
三　四国地方 ……594
四　近畿地方 ……595
五　中部地方 ……596
六　関東地方 ……598
七　奥羽地方 ……599
八　「シカ」の意の「コソ」 ……600
第四節　琉球の「ぞ」 ……601
第五節　特異副助詞　小集 ……602
第四章　助　詞〜いわゆる係助詞 ……607
第一節　「は」助詞の論 ……607
第二節　「特立」機能の「は」の広用〜三重県下一小方言のばあい〜 610
第三節　諸地方に「は」関係の事態を見る ……613
一　九州地方 ……613
二　中国地方 ……616
三　四国地方 ……617
四　近畿地方 ……618
五　中部地方 ……619
六　関東地方 ……621

七　奥羽地方 ……622
第五章　助　詞〜接続助詞 ……623
○　はじめに ……623
一 ……623
二 ……624
第一節　「バッテン」類 ……625
第二節　「ドモ」関係のもの ……631
第三節　「サカイニ」類 ……636
第四節　「て」「と」にかかわる特殊な言いかたの接続助詞 ……639
第六章　助動詞 ……643
第一節　助動詞特説 ……643
第二節　ベーベーことば ……644
○　はじめに ……644
一　北海道地方 ……645
二　奥羽地方 ……646
三　関東地方 ……653
四　中部地方 ほか ……657
第三節　ズラ・ラ ……660
第四節　ゴト・ゴタル ……665
第五節　ダ・ジャ・ヤ ……672
第三篇　本体詞 ……675
〔連体詞・副詞・接続詞・感動詞・間投詞・文末詞〕
回　本体詞　汎論 ……677
第一章　連体詞 ……679
第二章　副　詞 ……686
□　副詞　汎説 ……686

□　副詞存立の地方性 ……687
第一節　小方言間での副詞語彙対立 ……687
一　中国地方西端の山口県下一小方言 ……687
二　四国地方東端の徳島県下一小方言 ……690
第二節　同　上 ……693
一　四国地方の高知県下のばあい ……693
二　中国地方の島根県出雲のばあい ……695
第三節　同　上 ……699
一　九州地方福岡県下の一小方言 ……699
二　奥羽地方の小方言 ……703
1　秋田県下のばあい ……703
2　青森県「津軽方言」のばあい ……708
第四節　各地方に特異副詞を見る ……709
一　沖縄のばあい ……709
二　九州地方 ……710
三　中国地方 ……713
四　四国地方 ……715
五　近畿地方 ……717
六　中部地方 ……720
七　関東地方 ……725
八　奥羽地方 ……729
九　北海道地方 ……732
第三章　接続詞 ……734
□　接続詞　汎説 ……734
第一節　サ行音にはじまるもの ……736
第二節　ハ行音にはじまるもの ……740

第三節　ン音にはじまるもの ……744
第四節　その他 ……745
第四章　感動詞 ……748
□　感動詞　汎説 ……748
第一節　ア行音にはじまるもの ……749
一　九州地方 ……749
二　中国地方 ……752
三　四国地方 ……753
四　近畿地方 ……756
五　中部地方 ……757
六　奥羽地方 ……759
第二節　サ行音にはじまるもの ……761
第三節　ハ（パ）行音にはじまるもの ……762
第四節　ヤ行音にはじまるもの ……765
第五節　その他 ……768
第五章　間投詞 ……775
□　間投詞　汎説 ……775
第一節　九州地方 ……776
第二節　中国地方 ……779
第三節　四国地方 ……783
第四節　近畿地方 ……785
第五節　中部地方 ……787
第六節　関東地方 ……791
第七節　奥羽地方 ……792
第八節　北海道地方 ……794
第六章　文末詞 ……796

第一節　汎　説 ……796
第二節　地方文末詞　点描 ……797
第四篇　表現の世界 ……806
◎　はしがき ……807
I　話　部 ……808
A　話部の把握 ……808
B　諸方言下に話部を見る ……810
一　琉球地方 ……810
二　九州地方 ……811
三　中国地方 ……816
四　四国地方 ……821
五　近畿地方 ……823
六　中部地方 ……825
七　関東地方 ……828
八　奥羽地方 ……829
II　文表現〈センテンス〉 ……833
□　前　叙 ……833
A　文表現の諸類型 ……834
一　体言むすびに持っていく表現法 ……834
1　琉球地方 ……834
2　九州地方 ……838
3　奥羽地方 ……841
4　中国地方 ……844
5　四国地方 ……845
6　近畿地方 ……846
7　中部地方 ……848

8　関東地方 ……850
二　未来化表現法 ……851
1　九州地方 ……851
2　中国地方 ……852
3　四国地方 ……853
4　近畿地方 ……853
5　中部地方 ……854
6　関東地方 ……857
7　奥羽地方 ……859
B　一定調査法で見通した諸要地方言での「文表現」の実相 ……860
◇　前おき ……860
その一　鹿児島県大島郡与論島の方言 ……863
その二　東京都伊豆諸島大島の方言 ……873
III　連文表現 ……883
□　前　叙 ……883
その一　奄美諸島の与論島での連文表現　〈この島ご出身，町博光氏のご教示による。〉 ……884
その二　瀬戸内海大三島での連文表現 ……887
後　語 ……890
あとがき ……892
恩借引用文献一覧 ……893
索　引（事項索引） ……919

第一節　方言会話の実状

一　例の一つ═══「伊予八幡浜弁」

昭和六十年一月二十日，愛媛県八幡浜市内で，板坂政雄氏のご高助によって，両所の自然会話を録音し得たのが，つぎのものである。

両所 { A　藤尾氏（68歳）
B　井上氏（65歳） }

板坂氏お宅での会話である。（私は，先輩の板坂氏とともに同席した。）会話内容の初部を以下に掲げる。

〔センテンス番号〕

A　ユキオサン。ソクサイヤッタ　ナ。 …… 1

行雄さん。元気だったかね？

B　ドガナ？　ゲンキナ　カナ。 …… 2

どんな？元気かね？

A　アレカラ　コノマエ　オーテカラ，ナガイ　アイダニ　ナルガヤガ，アンタ　ゲンキナ　カイ。 …… 3

あれから，この前，会ってから，長い間になるんだが，あんた，元気かい？

B　デアワナンダ　ナー。ワシモ　ビンボーゼワシデ　ナー。 …… 4

出あわなかったねえ。わしも貧乏いそがしくてねえ。（笑）

（間）

A　シカシ　ナンヤ　ナー。ムカシ　オモイダスト　ホント　イロイロ　アッタ　デー。 …… 5

しかしあれだねえ。むかしを思いだすと，いろいろあったよなあ。

B　ソー　ヨナー。ゲンダイモ　カワッテ　キタケド，オイツイテ　ヨー

イカンデ　ナー。コレー。ゲンダイノ　ワカイ　ヒトノ　イキカタニワ。 …… 6

そうよねえ。現代も変わってきたけど，追いついて行きかねるでねえ。これ。現代の若い人の行きかたには。

（間）

A　ドーキューカイ　ヤッタ　トキ，ムカシバナシ　イロイロ　ヤッタワケヤケンド　ナー。ヤッパリー，クニキヤ　ナー。ハマイ，アソコラヘンノ　ヒトハ　クロシタ　ワイナー。 …… 7

同級会をやった時，むかしばなしをいろいろやったわけだけどねえ。やっぱり，国樹（人名）やねえ。浜井，あそこらへんの人は，苦労をしたよねえ。

B　ソー　ヨナー。アンタ　ヨー　シットン　ナー。ソヤケド　ワシラ　ホント　ショーガッコイ　イクジブンニャー　ゾーリ　ハイテ　ナー。ユキノ　フルガニ　アノ　サカミチオ　ガタガタ　オリテキタガヤガ。 …… 8

そうよねえ。あんたはよく知ってるねえ。だけど，わしらは，ほんと，小学校に行く時分には，ぞうりをはいてねえ。雪の降るのに，あの坂みちをガタガタ降りてきたんだが。

A　ワシラガ　サンネンノ　トキ　ハジメテ　フク　ユーモンガ　ミナ　ソロータ　ワケ　ヤガ。 …… 9

わしらが三年生の時に，はじめて，服というものがみんなそろったわけだが。

B　オー，ソーヤッタ　カナー。 …… 10

ええ，そうだったかねえ。

A　ソレマデワ　アノ　ナンヤ　ナー，カスリノ　キモノデ　フユワ　ハンテン　キテ，ヨー　ツバイヨッタ。 …… 11

それまでは，あの，あれだねえ，絣の着物で，冬は半てんを着て，よ